

平成24年度 予算決算常任委員会

平成23年度決算関係 提出資料

目 次

1 水道事業の概況	1
2 工業用水道事業の概況	5
3 電気事業の概況	9
4 公営企業会計決算審査意見書	14
に対する企業庁の考え方	

(参 考)

1 比較貸借対照表	19
2 長期債務の状況	22
3 建設改良費の状況	24
4 資金不足比率の状況	25

平成24年10月1日

三重県企業庁

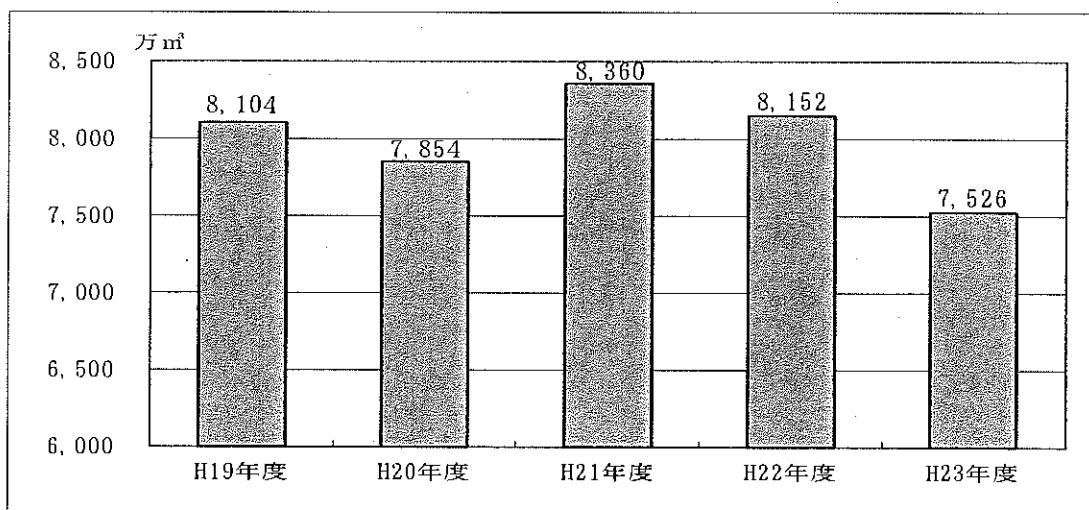
1 水道事業の概況

(1) 給水実績

平成23年度における、営業中の水道用水供給事業は、北中勢及び南勢志摩の2事業で、給水能力は、5浄水場で一日最大42万7,666m³となっています。

平成23年度は、4月1日に南勢志摩水道用水供給事業の一部を志摩市水道事業に一元化したことなどから、前年度より約626万m³少ない年間7,525万8,418m³の給水実績となりました。

給水実績の推移



(2) 損益収支

平成23年度の損益は、比較損益計算書のとおり、営業収益及び営業外収益を合わせた収益合計は、95億5千9百万円余（対前年度比94.8%）であり、営業費用、営業外費用及び特別損失を合わせた費用合計は、101億1千6百万円余（対前年度比70.6%）です。以上の結果、当年度の純損失は、5億5千6百万円余となりました。

この純損失は、志摩水道事業の一元化に伴い特別損失を計上したことによるものですが、経理上の処理であり、実際に現金支出や資金の減少を伴うものではないことから、経営に影響を与えるものではありません。

なお、前年度繰越欠損金と当年度純損失の合計額14億9千8百万円余の未処理欠損金を全額翌年度へ繰り越すこととしております。この未処理欠損金については、今後発生する純利益により解消に努め、平成25年度には解消すると見込んでおります。

主な利益増加要因(対前年度比)		主な利益減少要因(対前年度比)	
○ 特別損失の減少 (H22伊賀5,435百万円、H23志摩1,973百万円)	3,462百万円	○ 給水収益の減少	515百万円
○ 減価償却費の減少	156百万円		
○ 資産減耗費の減少	115百万円		
○ 支払利息の減少	109百万円		
○ 配水費の減少(修繕費の減等)	104百万円		
計	3,946百万円	計	515百万円

平成23年度水道事業会計

比較損益計算書

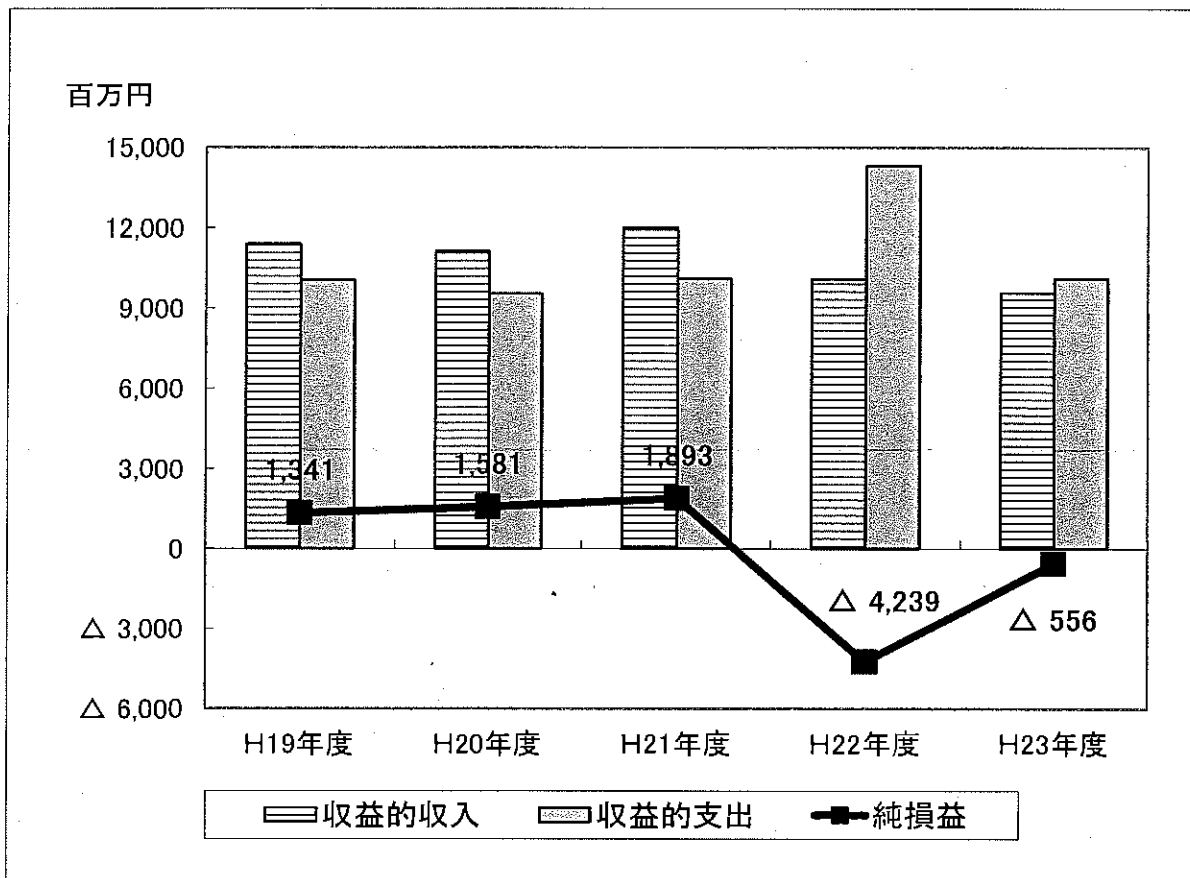
平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：千円)

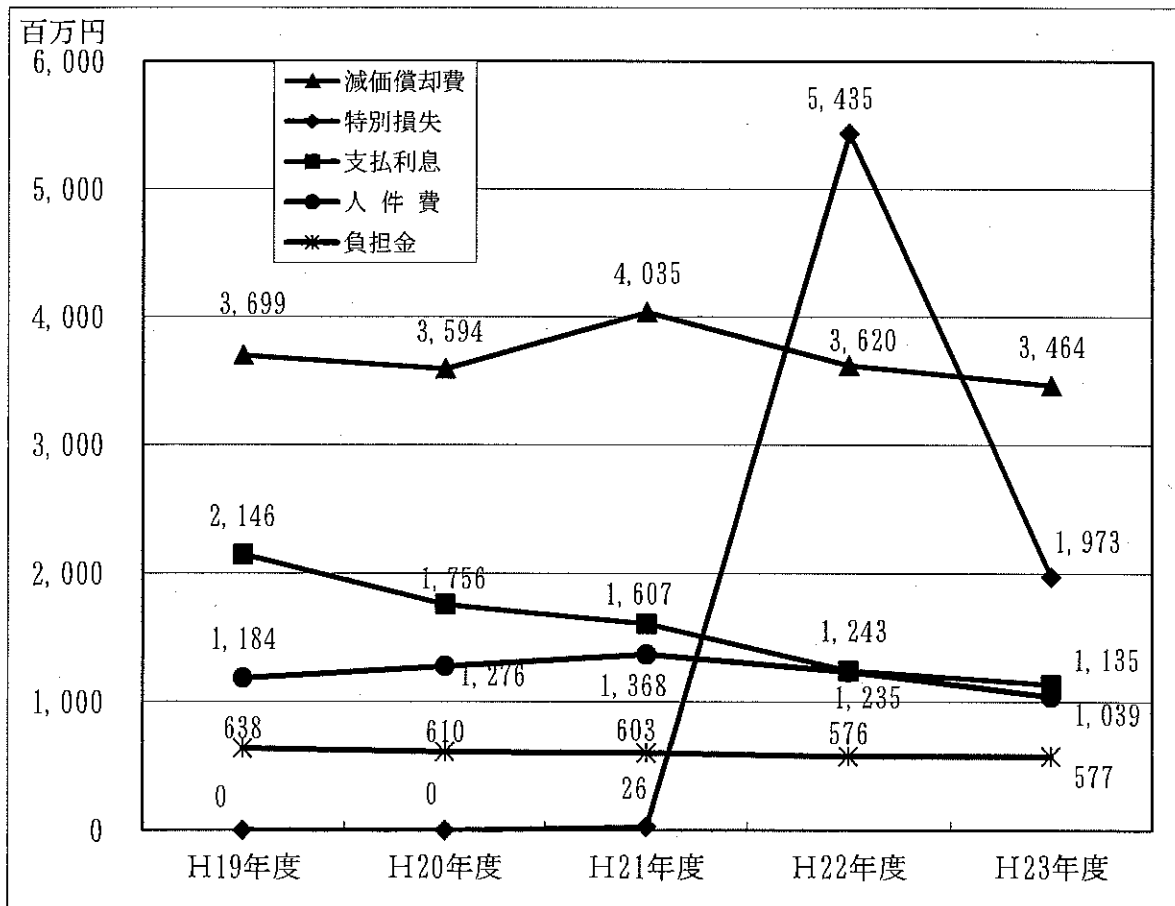
費 用				収 益			
科 目	H22年度	H23年度	前年度比	科 目	H22年度	H23年度	前年度比
営業費用	7,641,849	6,991,553	91.5	営業収益	9,893,799	9,377,404	94.8
原水及び浄水費	2,232,978	2,143,214	96.0	給水収益	9,889,397	9,374,042	94.8
配水費	569,915	465,746	81.7	その他営業収益	4,402	3,362	76.4
業務費	451,522	366,477	81.2				
総係費	602,505	502,016	83.3				
減価償却費	3,619,624	3,463,721	95.7				
資産減耗費	165,304	50,379	30.5				
営業外費用	1,246,858	1,151,825	92.4	営業外収益	191,154	182,417	95.4
支払利息	1,243,088	1,134,509	91.3	受取利息	33,076	23,657	71.5
受託工事費	3,722	17,280	464.2	他会計補助金	152,156	138,927	91.3
雑支出	48	36	75.6	補助金	135	-	皆減
				受託工事収益	3,722	17,280	464.2
				雑収益	2,065	2,553	123.7
特別損失	5,434,797	1,972,793	36.3				
その他特別損失	5,434,797	1,972,793	36.3				
				収益合計	10,084,953	9,559,821	94.8
				当年度純損失	4,238,551	556,350	13.1
合計	14,323,504	10,116,171	70.6	合計	14,323,504	10,116,171	70.6

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

◎決算額の推移



◎主な費用の推移



(3) 資本的収支

資本的収支につきましては、下表のとおりで、出資金、負担金及び志摩水道事業の一元化に伴う企業債繰上償還財源として受け入れた雑収入等を合わせた収入合計は、36億9千万円余（対前年度比144.0%）で、建設改良費、償還金を合わせた支出合計は、84億5千5百万円余（対前年度比111.9%）であり、収支で不足する額47億6千5百万円余は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

建設改良費は10億2千7百万円余（対前年度比55.4%）で、主な事業としては、北勢水道改良事業で送水管布設替工事等を施工し、3億4千5百万円余（対前年度比118.1%）を執行しました。

償還金は74億2千8百万円余（対前年度比130.3%）で、主なものは企業債償還金72億5千4百万円余（対前年度比131.0%）、水資源機構立替金返還金1億6千5百万円余（対前年度比105.4%）であります。

【水道事業】

(資本的収入)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
企 業 債	219,100	—	皆減
補 助 金	178,212	—	皆減
出 資 金	2,162,758	2,060,759	95.3%
負 担 金	—	11,760	皆増
雑 収 入	3,198	1,616,331	50,534.5%
固 定 資 産 売 却 代 金	—	1,257	皆増
合 計 ①	2,563,268	3,690,107	144.0%

(資本的支出)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
建 設 改 良 費	1,856,228	1,027,423	55.4%
うち北勢広域水道拡張費	467,698	—	皆減
うち北勢水道改良費	292,791	345,648	118.1%
償 還 金	5,701,275	7,428,121	130.3%
うち企業債償還金	5,537,197	7,254,040	131.0%
うち水資源機構立替金返還金	157,090	165,581	105.4%
合 計 ②	7,557,502	8,455,544	111.9%

資本的収支不足額(②-①)	4,994,234	4,765,437	95.4%
補てん財源			
消費税資本的収支調整額	85,172	49,175	57.7%
減債積立金	100,000	—	皆減
過年度分損益勘定留保資金	4,809,062	4,716,261	98.1%

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

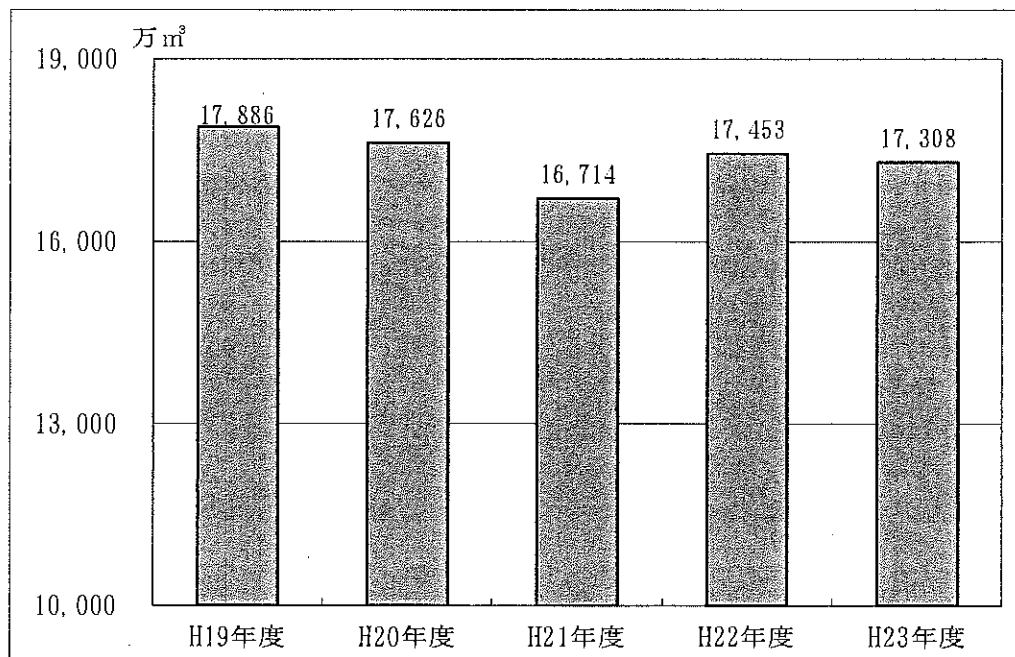
※企業債償還金には、22年度436,721千円、23年度2,266,566千円の繰上償還を含んでいる。

2 工業用水道事業の概況

(1) 給水実績

平成23年度における、営業中の工業用水道事業は、北伊勢、中伊勢、松阪及び多度の4事業で、給水能力は、一日最大91万1,500m³となっており、給水実績は1億7,307万7,449m³となりました。

給水実績の推移



(2) 損益収支

平成23年度の損益は、比較損益計算書のとおり、営業収益、営業外収益及び特別利益を合わせた収益の合計は、60億5千1百万円余(対前年度比99.9%)であり、営業費用、営業外費用及び特別損失を合わせた費用合計は、52億8千5百万円余(対前年度比100.0%)です。以上の結果、当年度の純利益は、7億6千5百万円余(対前年度比99.5%)となりました。

なお、前年度繰越利益剰余金と当年度純利益の合計額7億6千6百万円余につきましては、7億6千万円を減債積立金として利益処分を行うこととしております。

主な利益増加要因(対前年度比)		主な利益減少要因(対前年度比)	
○ 支払利息の減少	117百万円	○ 原水及び浄水費の増加	139百万円
○ 減価償却費の減少	31百万円	(木曾川用水管理費負担金の増等)	
○ 給水収益の増加	16百万円	○ 資産減耗費の増加	43百万円
○ 総係費の減少(人件費の減等)	16百万円	○ 受取利息の減少	13百万円
計	180百万円	計	195百万円

平成23年度工業用水道事業会計

比較損益計算書

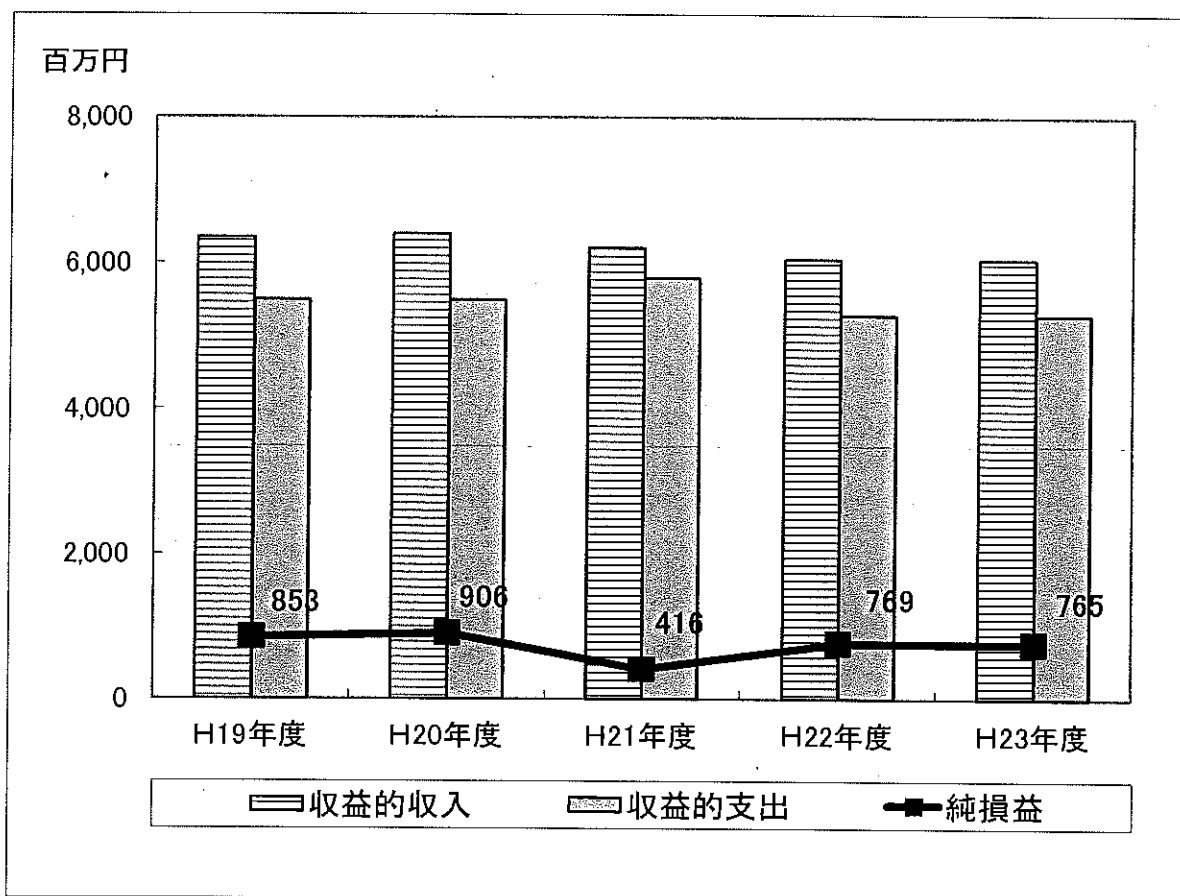
平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：千円)

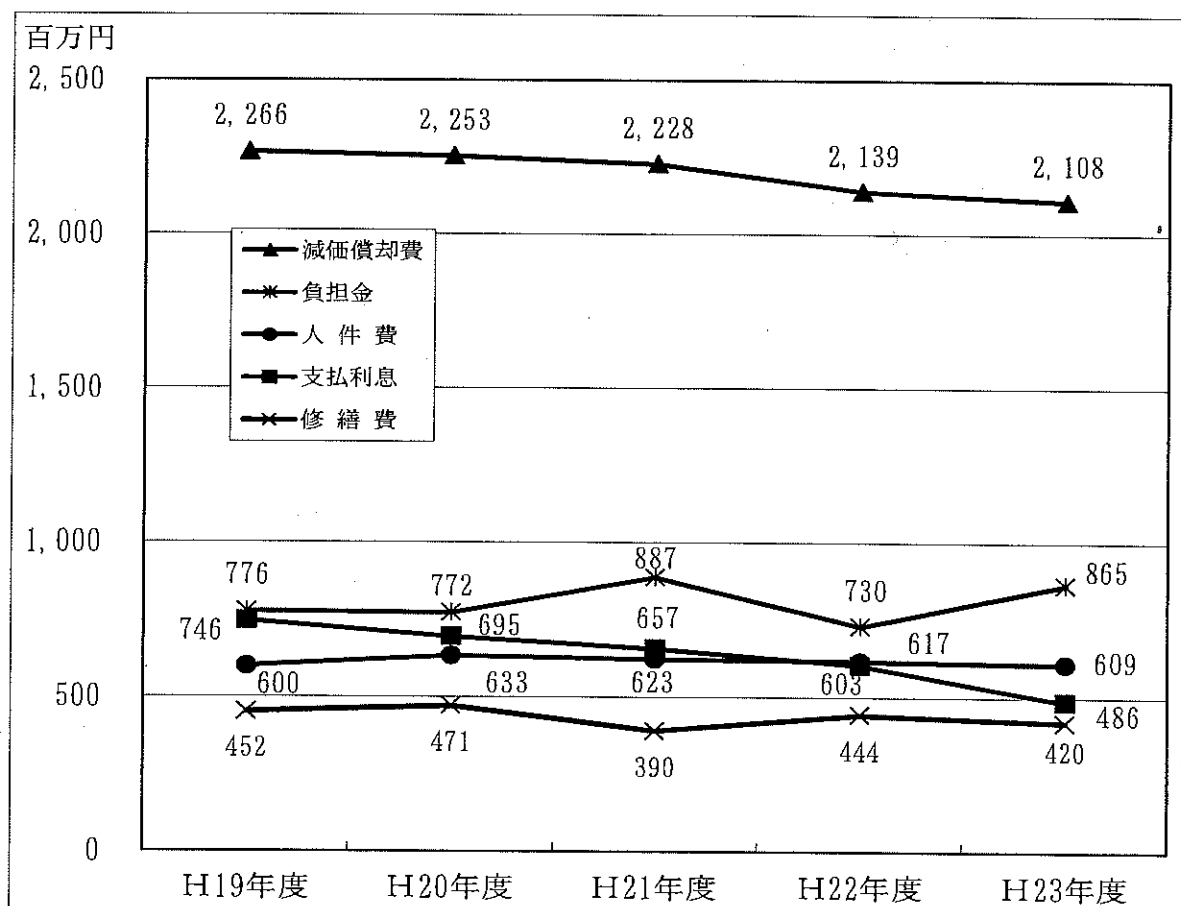
費 用				収 益			
科 目	H22年度	H23年度	前年度比	科 目	H22年度	H23年度	前年度比
営業費用	4,645,831	4,776,133	102.8	営業収益	5,973,930	5,983,179	100.2
原水及び浄水費	1,579,225	1,717,749	108.8	給水収益	5,391,167	5,406,923	100.3
配水費	200,466	190,889	95.2	その他営業収益	582,763	576,256	98.9
業務費	326,087	331,964	101.8				
総係費	338,944	322,455	95.1				
減価償却費	2,139,463	2,108,481	98.6				
資産減耗費	61,648	104,595	169.7				
営業外費用	610,645	488,716	80.0	営業外収益	50,426	36,294	72.0
支払利息	603,487	486,063	80.5	受取利息	34,648	21,752	62.8
受託工事費	7,110	2,571	36.2	他会計補助金	4,675	7,844	167.8
雑支出	48	83	173.2	受託工事収益	7,110	2,571	36.2
				雑収益	3,993	4,128	103.4
特別損失	28,748	21,010	73.1	特別利益	30,206	31,793	105.3
その他特別損失	28,748	21,010	73.1	固定資産売却益	17,846	31,793	178.1
				その他特別利益	12,360	-	皆減
費用合計	5,285,224	5,285,859	100.0				
当年度純利益	769,338	765,407	99.5				
合計	6,054,562	6,051,266	99.9	合計	6,054,562	6,051,266	99.9

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

◎決算額の推移



◎主な費用の推移



(3) 資本的収支

資本的収支につきましては、下表のとおりで、企業債、補助金及び出資金等を合わせた収入合計は、25億6千8百万円余（対前年度比94.2%）で、建設改良費、償還金を合わせた支出合計は、59億2千万円余（対前年度比83.2%）であり、収支で不足する額33億5千2百万円余は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

建設改良費は23億5千7百万円余（対前年度比92.2%）で、主な事業としては、北伊勢工水改良事業及び北伊勢工水第二次改良事業で老朽劣化対策や耐震化を行い、北伊勢工水改良事業で10億3千5百万円余（対前年度比86.8%）、北伊勢工水第二次改良事業で7億4千9百万円余（対前年度比82.2%）を執行しました。

償還金は35億6千3百万円余（対前年度比78.2%）で、主なものは企業債償還金19億4千2百万円余（対前年度比69.6%）、水資源機構立替金返還金16億1千2百万円余（対前年度比91.4%）であります。

【工水事業】

(資本的収入)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
企 業 債	1,247,000	1,225,000	98.2%
補 助 金	203,300	149,156	73.4%
出 資 金	1,261,110	1,179,552	93.5%
固定資産売却代金	386	2,187	566.1%
雑 収 入	16,202	12,526	77.3%
合 計 ①	2,727,998	2,568,421	94.2%

(資本的支出)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
建 設 改 良 費	2,556,819	2,357,025	92.2%
うち北伊勢工水改良費	1,191,995	1,035,018	86.8%
うち北伊勢工水第二次改良費	911,597	749,444	82.2%
償 還 金	4,555,646	3,563,812	78.2%
うち企業債償還金	2,789,103	1,942,018	69.6%
うち水資源機構立替金返還金	1,763,937	1,612,072	91.4%
合 計 ②	7,112,465	5,920,838	83.2%

資本的収支不足額(②-①)	4,384,467	3,352,417	76.5%
補てん財源			
消費税資本的収支調整額	157,055	147,631	94.0%
減債積立金	420,000	770,000	183.3%
過年度分損益勘定留保資金	3,807,412	2,434,786	63.9%

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

※企業債償還金には、22年度980,187千円、23年度173,196千円の繰上償還を含んでいる。

※水資源機構立替金返還金には、22年度1,284,410千円、23年度1,261,750千円の繰上償還を含んでいる。

3 電気事業の概況

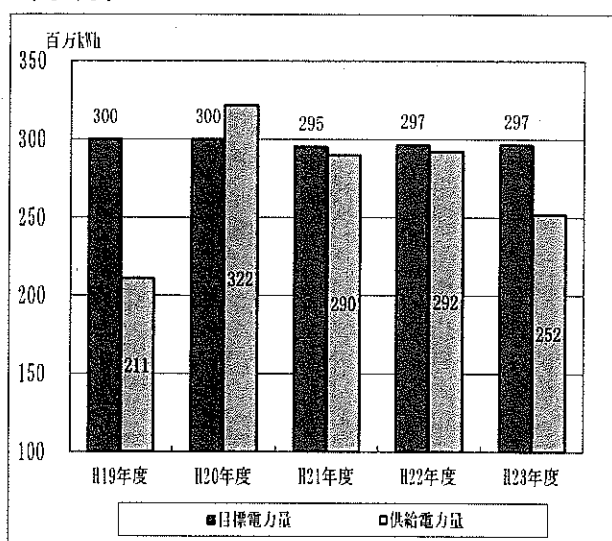
(1) 電力量

水力発電事業では、平成23年度は、4月から5月中旬までの降雨量が例年より少なかったことや、紀伊半島大水害による影響を受け青田発電所等が停止したことに伴い、発電量は目標電力量2億9,662万 kWh に対し、供給電力量約2億5,199万 kWh (85.0%) にとどまりました。

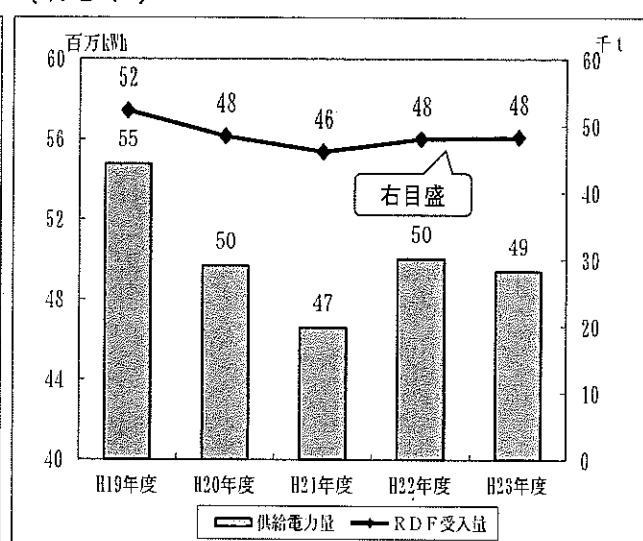
RDF焼却・発電事業では、平成23年度は、製造団体からRDF4万8,270トンを受け入れ、約4,941万 kWh の電力を供給しました。

供給電力量の推移

(水力)



(RDF)



(2) 損益収支

平成23年度は、比較損益計算書のとおり営業収益、附帯事業収益及び営業外収益を合わせた収益合計は、28億8千3百万円余(対前年度比89.3%)であり、営業費用、附帯事業費用及び営業外費用を合わせた費用合計は、33億8百万円余(対前年度比103.1%)です。以上の結果、当年度の純損失は、4億2千5百万円余となりました。

なお、前年度繰越欠損金と当年度純損失の合計額26億3千1百万円余の未処理欠損金を全額翌年度へ繰り越すこととしております。

また、今後の収支見通しについては、固定価格買取制度への移行による売電料金の増収を見込んでも、今後3年間で約3億円の欠損金が増加し、平成26年度末において、約30億円の未処理欠損金が見込まれます。

未処理欠損金の処理については、地方公営企業法の一部改正(平成24年4月1日施行)により、議会の議決を経て、減資ができるようになりましたが、電気事業会計を清算する時点において処理することを考えております。

平成23年度電気事業会計

比較損益計算書

平成23年4月1日～平成24年3月31日

(単位：千円)

費用				収益			
科目	H22年度	H23年度	前年度比	科目	H22年度	H23年度	前年度比
営業費用	1,928,582	2,159,544	112.0	営業収益	2,399,694	2,019,076	84.1
宮川第一水力発電	111,504	98,363	88.2	電力料	2,398,266	2,017,726	84.1
宮川第二水力発電	191,588	198,749	103.7	その他営業収益	1,428	1,349	94.5
宮川第三水力発電	117,105	122,635	104.7				
長水力発電	77,917	92,378	118.6				
三瀬谷水力発電	510,798	669,942	131.2				
大杉貯水池	129,037	125,330	97.1				
青蓮寺水力発電	19,608	85,562	436.4				
大和谷水力発電	129,961	114,522	88.1				
蓮水力発電	168,237	109,703	65.2				
青田水力発電	165,013	256,793	155.6				
比奈知水力発電	55,378	53,190	96.1				
一般管理費	252,437	232,378	92.1				
附帯事業費用	1,041,574	994,578	95.5	附帯事業収益	815,921	855,375	104.8
R D F 発電費	1,041,574	994,578	95.5	電力料	451,777	446,257	98.8
				その他附帯事業収益	364,145	409,118	112.4
営業外費用	181,401	154,864	85.4	営業外収益	13,243	9,292	70.2
支払利息	181,377	154,793	85.3	受取利息	7,434	4,891	65.8
雑支出	24	71	289.8	雑収益	206	281	136.8
特別損失	58,839	—	皆減	他会計補助金	5,603	4,120	73.5
その他特別損失	58,839	—	皆減				
費用合計	3,210,396	3,308,986	103.1	収益合計	3,228,858	2,883,743	89.3
当年度純利益	18,462	—	皆減	当年度純損失	—	425,243	皆増
合計	3,228,858	3,308,986	102.5	合計	3,228,858	3,308,986	102.5

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

主な利益増加要因(対前年度比)		主な利益減少要因(対前年度比)	
(水力) ○ 特別損失の皆減 ○ 支払利息の減少	59百万円 26百万円	(水力) ○ 電力料の減少 ○ 三瀬谷水力発電費の増加 (修繕費の増等)	381百万円 159百万円
(RDF) ○ RDF発電費の減少 (管理運営業務委託料年度割の減等) ○ その他附帯事業収益の増加 (RDF処理費引上げによる増等)	47百万円 45百万円	(RDF) ○ 電力料の減少	6百万円
計	177百万円	計	546百万円

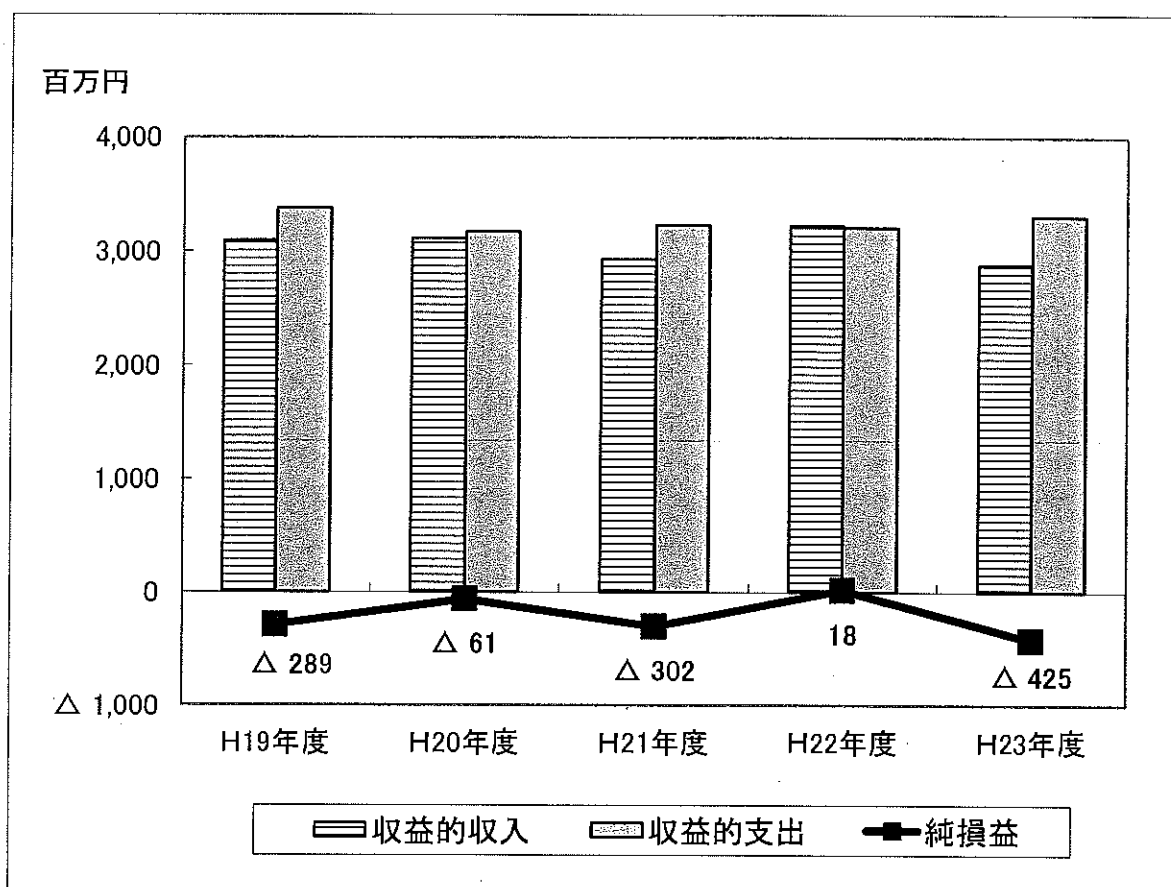
◎電気事業 事業別収支内訳

(単位:千円、税抜き)

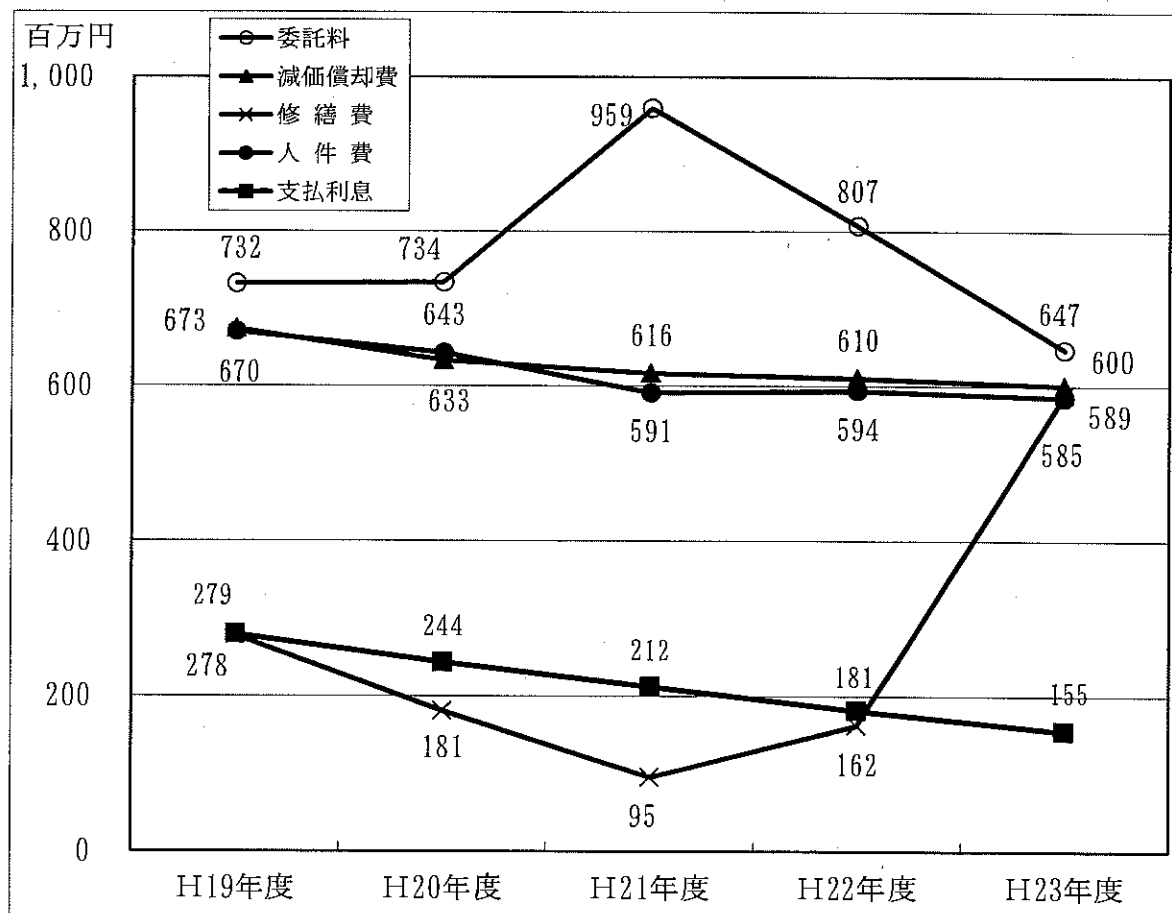
	水力発電事業			RDF焼却・発電事業		
	H22決算	H23決算	増減 23-22	H22決算	H23決算	増減 23-22
電気事業収益	2,412,745	2,028,155	△384,590	816,113	855,588	39,475
営業収益	2,399,694	2,019,076	△380,618	-	-	-
附帯事業収益	-	-	-	815,921	855,375	39,454
営業外収益	13,051	9,079	△3,972	192	213	21
電気事業費用	2,168,267	2,313,989	145,723	1,042,129	994,996	△47,133
営業費用	1,928,562	2,159,524	230,962	20	20	-
附帯事業費用	-	-	-	1,041,574	994,578	△46,997
営業外費用	180,866	154,465	△26,401	535	399	△136
特別損失	58,839	-	△58,839	-	-	-
純利益	244,478	△285,835	△530,312	△226,016	△139,408	86,608

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。

◎決算額の推移（電気事業会計全体）



◎主な費用の推移（電気事業会計全体）



(3) 資本的収支

資本的収支につきましては、下表のとおりで、収入は、長期貸付金償還金3千4百万円余（対前年度比72.8%）であり、建設改良費、償還金を合わせた支出合計は、5億9千4百万円余（対前年度比105.3%）で、収支で不足する額5億6千万円余は、損益勘定留保資金などで補てんしました。

建設改良費は9千2百万円余（対前年度比844.6%）で、宮川第三発電所など水力発電所の改良工事等を執行しました。

償還金は5億2百万円余（対前年度比90.6%）で、全額企業債償還金であります。

【電気事業】

(資本的収入)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
長期貸付金償還金	46,799	34,090	72.8%
雑 収 入	162,580	—	皆減
合 計 ①	209,379	34,090	16.3%

(資本的支出)

(単位:千円 税込み)

区 分	H22年度決算額(A)	H23年度決算額(B)	(B)/(A)
建 設 改 良 費	10,990	92,823	844.6%
うち水力発電所改良費	10,990	92,209	839.0%
償 還 金	553,844	502,003	90.6%
うち企業債償還金	504,351	502,003	99.5%
合 計 ②	564,834	594,827	105.3%

資本的収支不足額(②-①)	355,456	560,737	157.8%
補てん財源			
消費税資本的収支調整額	517	4,413	853.9%
過年度分損益勘定留保資金	354,939	556,323	156.7%

※四捨五入のため、合計が合わない場合がある。